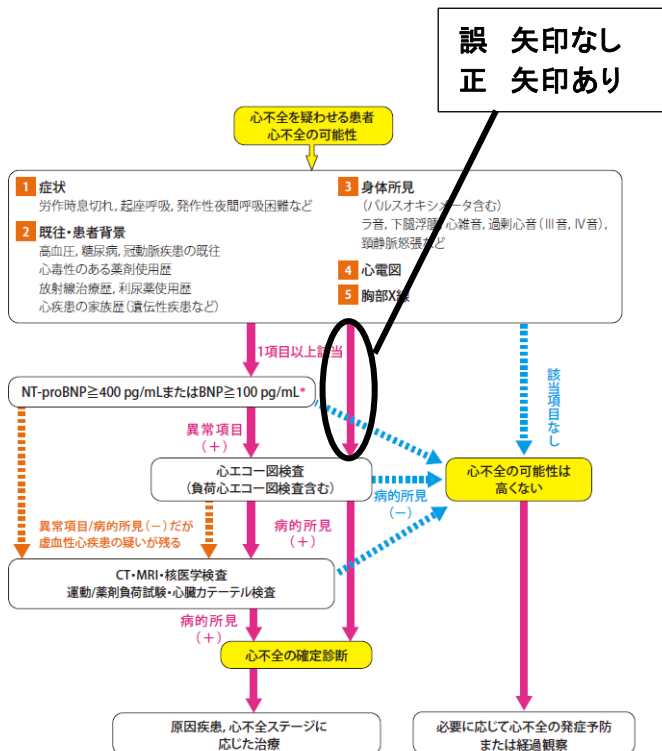


「急性・慢性心不全診療ガイドラインかかりつけ医向けガイダンス」 訂正記事

記載に誤りがありましたので、下記の通りお詫びして訂正いたします。

【訂正箇所】 p13 図 I-2 慢性心不全の診断フローチャート



* NT-proBNPが125~400 pg/mLあるいはBNPが35ないし40~100 pg/mLの場合、軽度の心不全の可能性を否定しえない。NT-proBNP/BNPの値のみで機械的に判断するのではなく、NT-proBNP/BNPの標準値は加齢、腎機能障害、貧血に伴い上昇し、肥満があると低下することなどを念頭に入れて、症状、既往・患者背景、身体所見、心電図、胸部X線の所見とともに総合的に勘案して、心エコー図検査の必要性を判断するべきである。